

5. 本時の目標（1／10）

減少の場面をブロックに表し、操作をする活動を通して、残りはいくつかを求めるときは「○から△とると、のこりは□」という表現になることに気付き、数字や記号を用いて減法の式に表せることを理解することができる。

6. 本時の展開

学習内容	指導・援助
<p>1. 導入問題から本時の場面を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 男の子がボールをかごから出しているよ。 かごに入っているボールが残りだね。だから残りは2こだよ。 <p>2. 問題を提示・把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>のこりは なんびきになるでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> はじめは、金魚が5匹いるよ。 男の子が2匹すくっているよ。 前までと違って、金魚の数が減ったね。 <p>3. 課題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>とって、のこりはなんびきになるかをみつけて、しきのかきかたをしよう。</p> </div> <p>4. 個人で追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 金魚をブロックに変身させる。 問題に立ち返り、「2ひきとる。」ことに気付かせる。 「2ことる。」の言葉に合わせて、ブロック操作を行う。 <p>5. 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5から2とると3。 ブロックが5こあります。2ことると、残りは3こです。 「とると、のこりは」を話すと、わかりやすいね。 <p>6. 式の表し方と読み方を知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 5から2をとると、のこりは3になります。 式で書くと、$5 - 2 = 3$（5ひく3は2） <u>こたえ 3ひき</u> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「-」は「ひく」と読むんだね。 たし算と同じようにブロックのお話からひくの式ができるんだね。 <p>7. 練習問題を解く。ペア交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵からお話をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> → 男の子が鉛筆を6本持っています。 → 女の子に4本あげました。 → のこりは何本になるでしょう。 ブロック操作からブロックのお話をする。 <ul style="list-style-type: none"> → 6から4あげると、のこりは2です。 「あげると」と「とると」は同じ動かし方だね。 式を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> → しき $6 - 4 = 2$ <u>こたえ 2ほん</u> 教科書に式と答えを書き込む。 <p>8. 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>のこりをもとめるときのしきは、$5 - 3$や$6 - 4$とかきます。このけいさんをひきざんといいます。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 絵の内容と同じ動作ができるよう、ペーパーサートを準備する。 「のこり」という言葉が何を指しているかを知る。 問題場面を把握するために、「のこりはなんびきでしょう。」で終わる絵のお話を作る。 「ブロックでお話してごらん」等の問いかけ、実際にブロックを動かす活動を取り入れることで前時までの学習との違いを理解させる。 「5」「2とると」「のこりは3」の大事な言葉を価値付ける。 複数の児童の発言を、「5から2とるとのこりは3」に集約する。 ブロック操作や、手の動きに着目してブロックのお話ができるようにする。 のこりがいくつになるかを求めたときは「-」を使い「ひく」と読んで、式を書くことを押さえる。 「えんぴつをあげると」という場面を理解できるようにするために、「あげると」とは、どういうことなのか動作やブロック操作を交えて確認し、のこりを求めるときと同じだということに気付かせる。 ペア交流の時間を設け、お話に合わせてブロック操作できているかを聞き合う。 「-」をつかった式のことを、「ひきざん」ということを押さえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><評価規準> 減少の場面について、減法の意味と式の表し方を理解している。（知識・理解）</p> </div>

